

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 児童発達支援センター AEC 宜野湾



○事業所名	COMPASS児童発達支援センターAEC宜野湾			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 30日		～	令和7年 11月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	7年 4月 1日		～	令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 29日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携体制があります。 各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討等も含めた多様な視点から意見を取り入れながら、計画書の作成や日々の療育へ反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループを形成しており、担当グループ主体で会議や勉強会を実施しております。 また、複数地域に事業所があるため、不明点等については指定権者へ確認をおこない、法令に沿った適切な事業所運営に努めております。	児童が楽しみながら通ってくれる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	・個別支援の質に関する満足度が高く、一人ひとりに合わせた丁寧な支援をおこなえていることが強みです。 ・保護者様との連携や説明も比較的充実しており、信頼関係やコミュニケーションが良好に築けていることも強みであると考えております。	・児童発達支援では午前中から利用児童が通所するため、全職員が揃ってミーティングを実施することが難しい状況もありますが、申し送りや情報共有の方法を工夫しております。 ・子どもの嗜好や理解度に合わせた支援内容を検討し、無理なく活動へ参加できるよう配慮しております。 ・必要に応じて支援方法や声かけを職員間で共有し、子どもに対して一貫した対応がおこなえるよう努めております。	・朝礼だけでなく、共有メモや統一フォーマット等を活用し、全職員が同じ質の情報を共有できる仕組みづくりに努めてまいります。 ・子どもの発達段階に応じた支援方法について、職員間でより一層共有を図り、一貫性のある支援体制の強化に努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の相談対応や助言はおこなえているものの、「ペアレント・トレーニング」「保護者参加型プログラム」「定期的な研修」等については、センターとして十分な役割を果たせていないことが課題であると考えております。	・開所から日が浅く、日々の支援運営を優先してきたため、ご家庭や保護者様向けのプログラム企画に十分な時間を確保することができておりませんでした。 ・また、職員の人数や経験値に差があり、プログラムの企画・運営を担う担当者の育成が十分に進んでいないことも要因であると考えております。	・現在、事業所全体で令和8年1月実施予定の「きょうだい児交流」に向けた企画・検討を進めております。 ・また、今年度12月からは、契約児童に限らず地域のご家庭にも気軽に事業所へ立ち寄りいただけるよう、「子育ての悩みや学習に関する相談」を受け付ける取り組みを開始する予定となっており、現在広報活動の準備を進めております。
2			
3			



公表日：令和8年5月15日